

令和元年度 生徒・保護者による学校評価報告

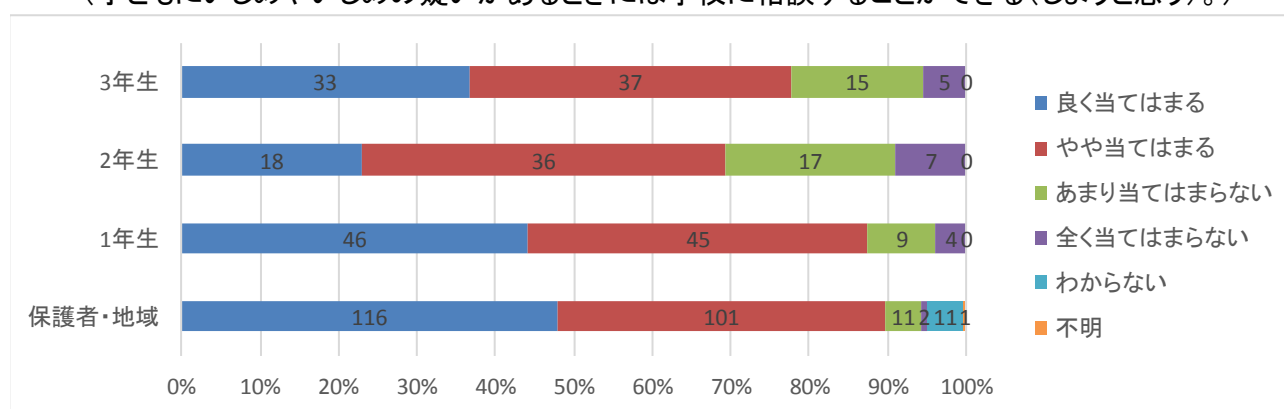
本年度12月に、生徒、保護者、地域協働学校運営委員による学校評価アンケートを実施しました。その集計を受け、学習指導や生活指導などに関して、今後の改善の参考とさせていただきます。

I 主な設問（区共通：1から5、学校独自：6，7）の集計から

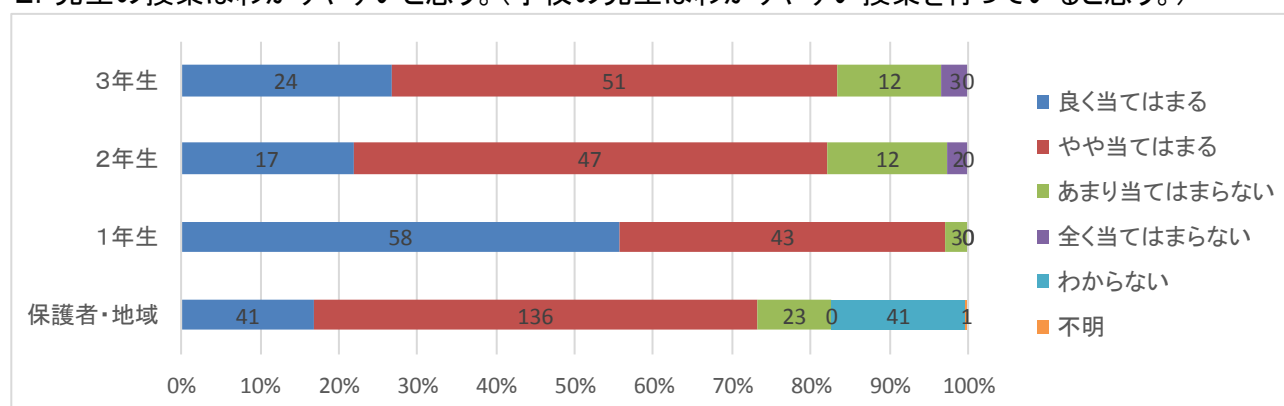
「区共通」と「学校独自」の学校生活の基本と考えている「学校のきまりについて」、生徒・保護者共に関心の高い「部活動について」の計7設問の集計です。グラフ内の数値は回答者数となっております。

（回答数：1年生＝104人、2年生＝78人、3年生＝90人、保護者・地域＝242人）

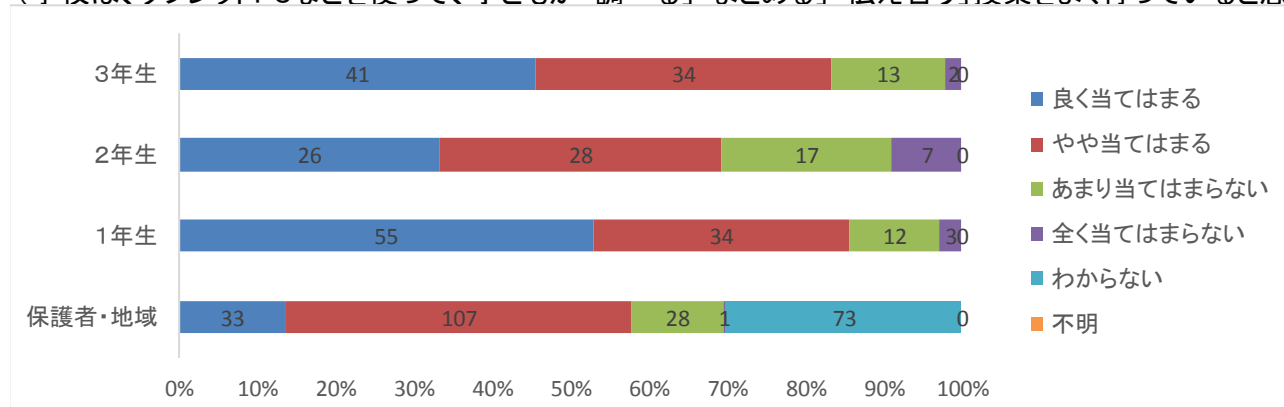
1. いじめ等の問題があるときには、すぐに先生に相談することができる(と思う)。
 (子どもにいじめやいじめの疑いがあるときには学校に相談することができる(と思う)。)



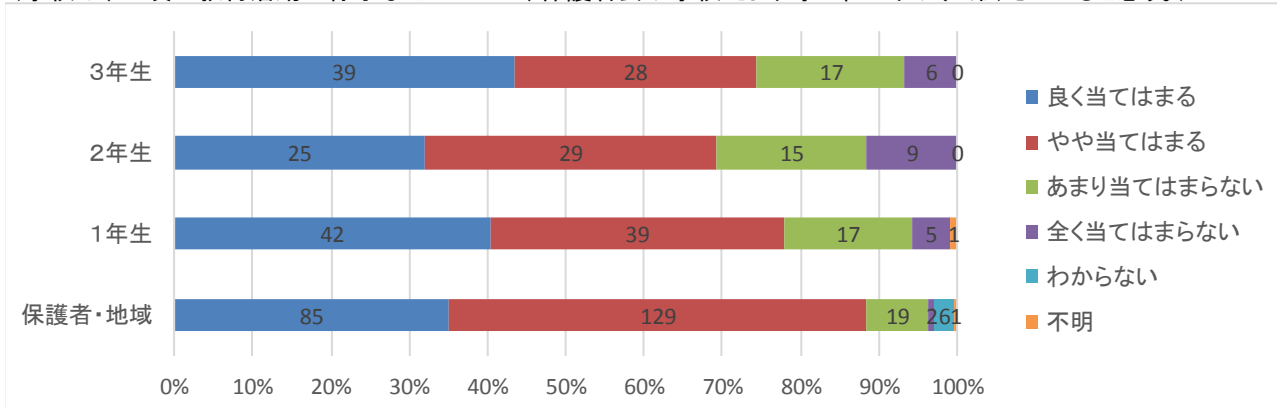
2. 先生の授業はわかりやすいと思う。(学校の先生はわかりやすい授業を行っていると思う。)



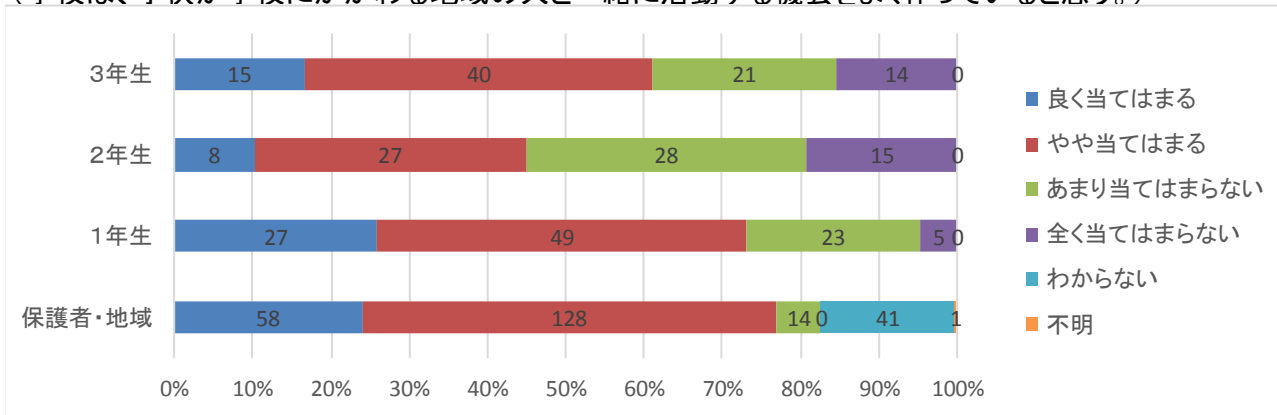
3. タブレットPCなどを使って「調べる」「まとめる」「伝え合う」授業が好きだ。
 (学校は、タブレットPCなどを使って、子どもが「調べる」「まとめる」「伝え合う」授業をよく行っていると思う)



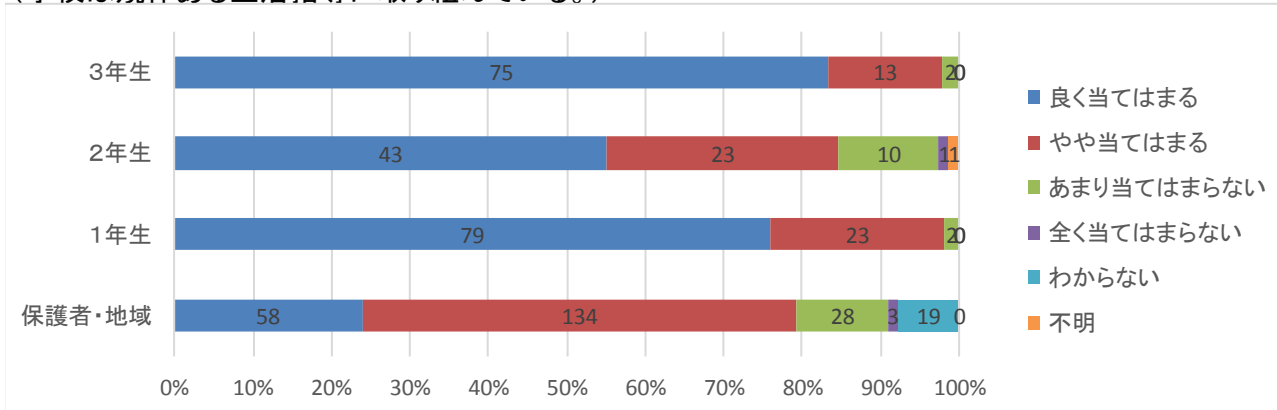
4. 学校での授業や行事のことなどについて、家の人に自分から話している。
(学校は、日頃の教育活動の様子などについて、保護者会や学校だより等でわかりやすく伝えていると思う。)



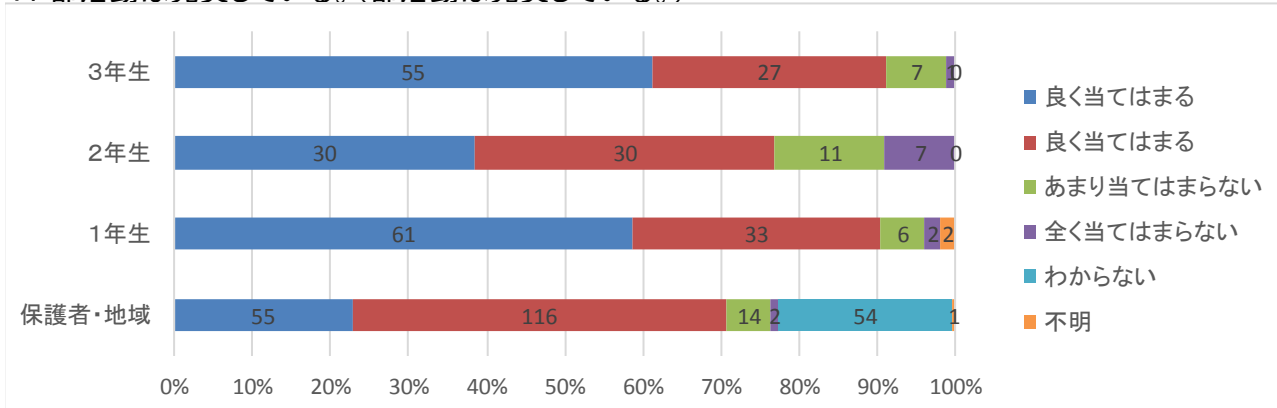
5. 学校にかかわる地域の人から様々なことを教わったり、一緒に活動したりしたことがある。
(学校は、子供が学校にかかわる地域の人と一緒に活動する機会をよく作っていると思う。)



6. 私は学校のきまり(頭髪、服装、時間、学校生活全般)を守っている。
(学校は規律ある生活指導に取り組んでいる。)



7. 部活動は充実している。(部活動は充実している。)



Ⅱ 主な設問と他の設問を含めての集計から

主な設問と他の設問で共通する内容ごとに整理し、それらから見えてくる成果と課題、解決策や方向性などをまとめました。(表中の斜体強調文字で表されている文章が区共通設問です)

1. 学習指導に関する内容について

「先生の授業はわかりやすいと思う」という設問に対して、肯定的な意見を答えた生徒が1年生97%、2年生82%、3年生83%、「授業に集中して取り組んでいる」という設問に対しても、1年生は96%、2年生78%、3年生91%と肯定的な意見が多い。また、「タブレットPCなど

	1年	2年	3年
授業が分かりやすい	97.1	82.1	83.4
授業に集中して取り組んでいる	96.1	78.2	91.1
PCなどを使う授業は好きだ	85.6	69.2	97.8
進路についての情報をくれる	90.4	82.1	93.3
家庭学習に取り組んでいる	63.4	44.9	70.0

を使って「調べる」「まとめる」「伝え合う」授業は

好きだ」と感じている生徒は1年生86%、2年生69%、3年生98%と高い数値です。新宿区で導入されたタブレットPC、電子黒板機能付きプロジェクタ、実物投影機などを授業で教師と生徒が使っている成果と言えます。教師は説明を視覚的に行うことができ、生徒は発表、プレゼンテーションを行うことでアウトプット能力を高めることができています。今後、一人ひとりの生徒にタブレットが渡されることを鑑み、引き続き生徒が多くの場合でタブレットPCなどのICT機器を活用する授業の工夫改善を行います。

進路指導に関する設問では、「学校は進路について情報をよく知らせてくれ、進路の相談にのってくれる」において、1年生90%、2年生82%、3年生93%と高くなっています。本校では進路指導を進学指導だけでなく生き方指導として捉えています。そのため、1年生で職業調べや働く人の話を聞く会などの職業に関する学習を、2年生で職場体験と上級学校調べと高校授業体験などで自分の将来を考えたいうえで上級学校選択につながる学習を、3年生で実際に自分の進路について考え実践していく学習を行っています。また、中学校卒業後の進路については、上級学校進学を視野に入れた進学指導を丁寧に行っています。今後も進路指導の目的や意義など中学校3年間を見通して、生徒、保護者にしっかり伝える進路指導を行っています。

家庭学習に関する設問では、3年生が70.0%、2年生が44.9%、1年生が63.4%になっています。昨年度と比較すると全学年で増えてきているが、7月と比較すると1・2年生で減り、3年生で増えてきている。3年生は受験が近くなるほど増えてくるので良いが、1・2年生の家庭学習の定着をあげていくのが課題である。学校としては、今年度から2回「家庭学習の手引き」を発行し、推進しました。生徒たちは理解をしましたが、活用するところまではいかなかったようです。この手引きの活用方法を授業などの様々な場面で示し、保護者と協力しながら進めていきます。ご家庭のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

2. 生活指導に関する内容について

「学校の決まりを守っている」に対して生徒の8割以上が肯定的で、「学校は規律ある生活指導に取り組んでいる」に対して保護者の9割以上が肯定的でした。生徒一人ひとりが学校のルールを意識し

	1年	2年	3年
先生や友人に挨拶をしている	94.2	93.6	96.7
学校の決まりを守っている	98.1	84.6	97.7
先生たちは悩みを聞いてくれる	96.2	71.8	85.6

て守り、落ち着いた学校生活を送ることができている表れだと思います。また、「先生や友人に挨拶をしている」

に対して生徒の94.9%以上が肯定的で、「学校は挨拶がきちんとできるよう取り組んでいる」に対して保護者・地域の87.6%以上が肯定的でした。これは学校全体であいさつ運動が定着しているのと、生徒会や生活委員が中心となって、活動している効果の表れだと思います。ただ、「先生たちは悩みを聞いてくれる」は7月のアンケートから下がってしまっているの、信頼される学校を目指して、きめ細やかな対応を行っています。具体的には、以前から続けている毎日の学活ノートのチェックや「自分を見つめて」「ふれあいアンケート」などを通じてアンテナを高くして、人間関係や、理想と現実のギャップに悩むことの多い中学生のトラブルを抱える生徒の実態を逃さぬようにし、問題を感じた時には迅速で丁寧な指導を心がけています。

3. 部活動に関する内容について

「部活動は充実している」とする生徒・保護者は昨年度に比べると増加しているが、7月のアンケートよりは1年生で増加し、2・3年生で減少しています。1年生は初めての中学校生活と部活動の中で、いろいろなことが出来るようになったり、部活動のしくみを理解できるようになったりし、充実した学校生活が送られるようになったことが大幅に増加した要因であると考えます。保護者には、部活動説明会等で機会あるごとに「部活動は教育課程には位置づけられていないものの、教育活動の一環であり、教員の理解と支援によって行われています。本校では、体力や技能の向上とともに、生徒の居場所づくり、絆づくりを目指している」という部活動に対する学校としての姿勢を打ち出してきましたが、本校の姿勢について保護者の理解が深まった結果であると考えます。要望として、新たな部活の新設や以前あった部活の復活を願う声もありますが、現在の生徒数を鑑みると現行の10部活が各部活の活動を保障するに見合った数であると考えています。引き続き、より良い部活動運営を目指していきます。

4. 開かれた学校に関する内容について

以前より「わからない」という回答が多いことが保護者アンケートの課題でした。そのため、年2回の学校公開週間だけでなく、すべての土曜授業を学校公開とし、落合二中の実情を見てもらう機会を増やしました。学校だよりや学年だよりを定期的に発行し、ホームページも適時更新してきました。その結果、生徒に対する設問4「学校での授業や行事のことなどについて、家の人に自分から話している」では、肯定的な意見は全体の74.3%であった。生徒は学校のことを家庭で話題にしているという意識が高くなっています。

また、保護者アンケートでは授業の内容に関する設問（「学校はタブレットPCなどを使って、子どもが「調べる」「まとめる」「伝え合う」授業をよく行っていると思う」、「学校は授業を大切にし、授業改善に取り組んでいる」、「学校は道徳の授業や毎日の生活の中で、心を育てる教育を推進している」）で20%以上が「わからない」と答えています。しかし、数年前は約40%の保護者が「わからない」と回答していた設問もあったので、以前に比べると「わからない」という回答は減ってきています。今後は、保護者・地域に向けて本校の教育活動について、ホームページの更新やレイアウトなどを工夫することで分かりやすい情報公開に努めていきます。

地域との活動に関する質問では、保護者・地域は肯定的な意見が76.9%、生徒が61.0%となりました。保護者の「わからない」という回答も16.9%となりました。地域の方と協力して行う行事やイベントも増えてきていて、保護者・地域の方には浸透してきていると考えられます。学校と地域が協働して行っている取組みには、1年生の避難所開設訓練、3年生の染物体験の講師、実用英語技能検定試験（英検）の監督など、地域協力者の支援のもとで行っています。また、本校の生徒が町内会や育成会で開催するスポーツ大会やイベントの運営に係る、あるいは出演するといった協力も半ば定例化してきています。これからも地域の方々と行う行事などを大切にすることで生徒に地域の一員としての自覚を促し、自主的に地域行事に参加しようとする心情を育てていくと共に「開かれた学校づくり」、「地域のコミュニティーセンターの役割をする学校づくり」を進めていきます。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様には、学校評価アンケートにご理解とご協力をいただきましたこと感謝申し上げます。なお、保護者の皆様からいただいた自由意見については、後日改めて報告いたします。

学校評価アンケートの集計結果（生徒全22設問、保護者・地域全23設問）については、本校ホームページをご覧ください。